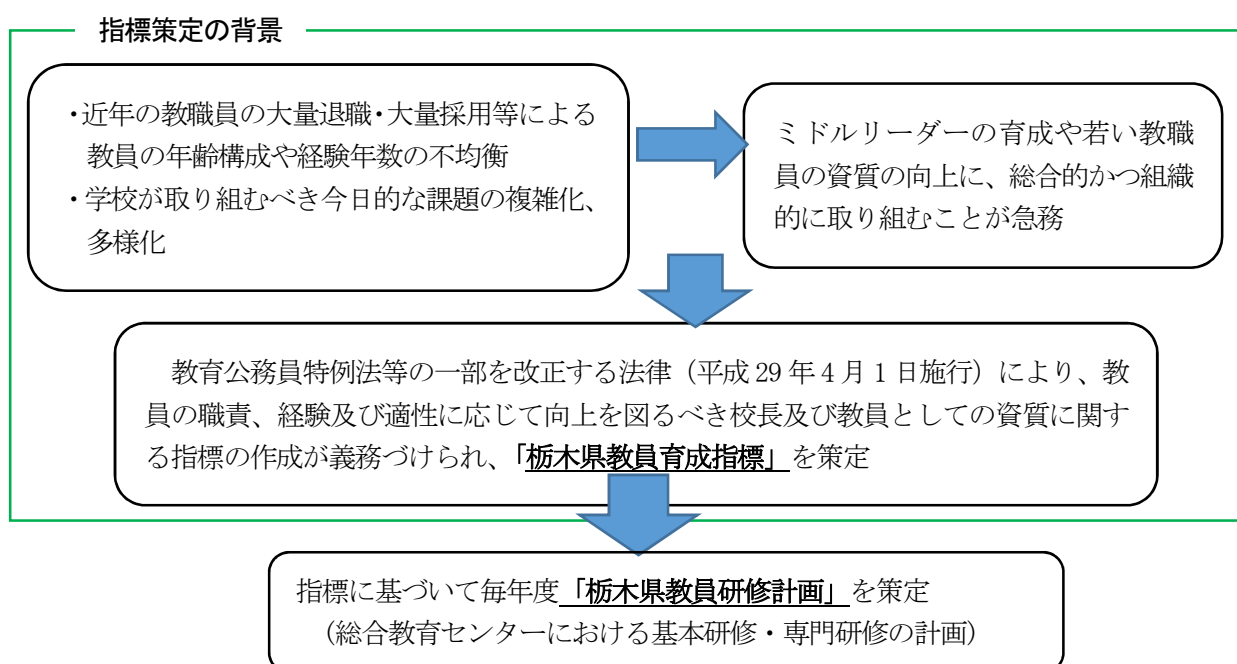


栃木県教員育成指標の概要

平成 30 年 3 月
栃木県教育委員会

1 指標とは

教員一人一人が、自らの職責、経験及び適性に応じて、資質の向上を図る際の目安となるもの、さらに高度な段階を目指す際の手がかりとなるもの



2 指標の内容と構成

(1) 種類

校長、教諭、養護教諭、栄養教諭の 4 種類です。

なお、小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校とも共通となります。

(2) 区分

① 行動規準表の評価区分による区分

校 長：「学校経営」、「学校教育管理」、「人事管理」、「意欲・態度」

教 諭：「学習指導」、「児童・生徒指導」、「参画・経営」、「意欲・態度」

養護教諭：「保健指導・保健管理」、「児童・生徒指導」、「参画・経営」、「意欲・態度」

栄養教諭：「食に関する指導」、「給食管理」、「参画・経営」、「意欲・態度」

② 経験年数によるステージの区分

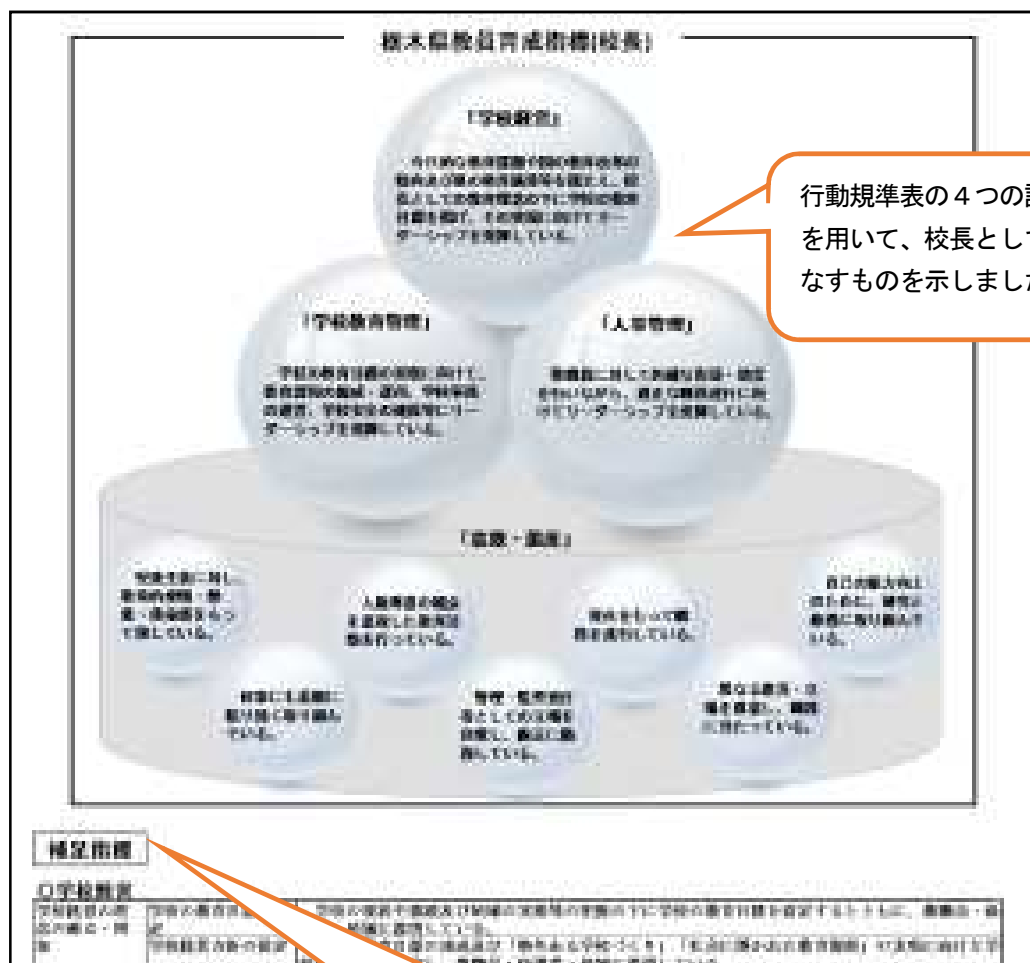
教諭、養護教諭、栄養教諭は、「採用時の姿」～「ステージⅣ」までの 5 区分としています（行動規準表のステージ区分とは異なります）。

大学等における教員養成段階から採用・研修を通じた指標とするため、「採用時の姿」をステージの第一段階に位置付けました。

(3) 構成

① 校長

「公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針」（平成29年3月31日付文部科学省告示第55号）において、学校組織のリーダーとして校務をつかさどる校長の指標については、他の職とは明確に区別できるように留意することとされています。その点を踏まえ、まず校長の指標として根幹をなすものを示し、さらにそれらを具体化させた補足指標を定めました。



行動規準表の4つの評価区分を用いて、校長として根幹をなすものを示しました。

「学校経営」、「学校教育管理」、「人事管理」の3区分について、補足する指標を具体的に示しました。

※教頭については、校長を補佐する立場であることから、校長の指標を準用してください。

② 教諭、養護教諭、栄養教諭

栃木県教員育成指標(教諭)				
とちぎの求める教師像 ～自信と誇りをもって子どもたちと向き合える教師～ 人間性豊かで信頼される教師 幅広い視野と確かな指導力をもった教師 教育的愛情と使命感をもった教師				
全体指標	採用時の姿	ステージⅠ (おおむね1年目～5年目)	ステージⅡ (おおむね6年目～10年目)	ステージⅢ (おおむね11年目～19年目)
	教員としての基礎・基本を理解するとともに、教職生活全体を通して自律的に学び続けようとする強い意志をもっている。	教育活動に必要な基礎的・基本的な知識・技能を身に付けるとともに、同僚からの助言等を得ながら職務を遂行している。	専門的な知識・技能や、新たな教育課題に対応する実践的指導力を身に付けるとともに、同僚と協働しながら職務を遂行している。	学校の課題を活性化させを発揮したりリーダーとして学校運営に積極的に参加している。
				積極的に学校経営を支え続けている。

教諭、養護教諭、栄養教諭によって、総括的にまとめたものが全体指標です。

ステージごとに下表のとおり、キーワードを設定しました。このキーワードが「全体指標」、「学習指導に関する指標」、「児童・生徒指導に関する指標」、「参画・経営に関する指標」にも反映されています。

採用時の姿	ステージⅠ	ステージⅡ	ステージⅢ	ステージⅣ
★教員としての基礎・基本の理解 ★「学び続ける教員像」の認識	★基礎・基本の習得 ★同僚からの助言等の活用	★実践的指導力の習得 ★同僚との連携・協働	★組織の活性化 ★企画力・実践力の発揮	★リーダーシップの発揮 ★学校経営への積極的な参画

○学習指導に関する指標

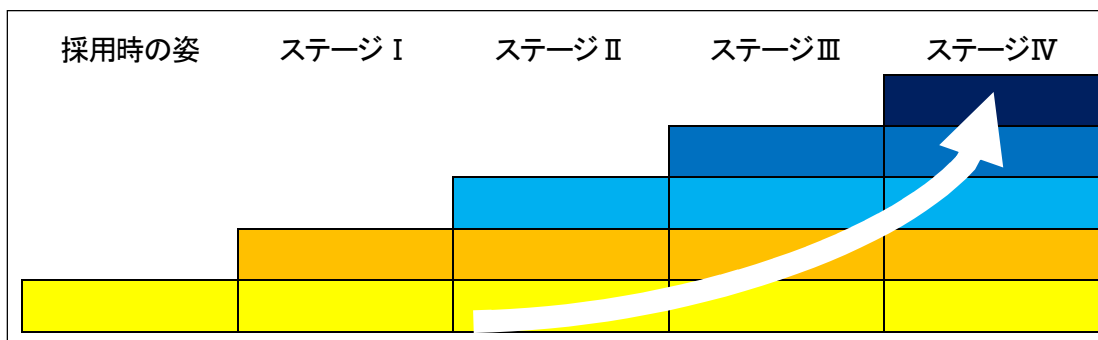
	採用時の姿	ステージⅠ (おおむね1年目～5年目)	ステージⅡ (おおむね6年目～10年目)	ステージⅢ (おおむね11年目～19年目)	ステージⅣ (おおむね20年目～)
学習指導全般	学習指導の基礎・基本を理解するとともに、指導力の向上を目指して学び続けようとする強い意志をもっている。	学習指導の基礎・基本を身に付けるとともに、児童生徒の実態をとらえ、同僚からの助言等を得ながら、指導の工夫・改善を図っている。	指導要領や研修会への参加、同僚との情報交換等を通して、児童生徒の実態に合わせた学びを促す学習指導の工夫・改善を図っている。	学習指導上の課題解決に向けた対策を積極的に提案するとともに、学年や部、教職員間の連絡・調整及び実践においてミドルリーダーとしての役割を果たしている。	若手・中堅教員等に学習指導の範を示すとともに、課題解決に向けて、教育課程の見直しや授業改善等にリーダーシップを発揮している。
指導計画等の立案・実施	教育目標の実現に向けて、指導計画に基づいて学習指導を行うことの大切さを理解している。	学習指導要領や年間指導計画等に基づき、指導目標や評価計画、指導内容等を適切に設定して学習指導案を作成している。	学習指導上の課題を把握し、同僚と情報交換を行いながら指導計画の工夫・改善を図っている。	学年間の接続や教科横断的な視点などから、学校全体を視野に入れた指導計画の工夫・改善を図っている。	学校の教育目標の実現に向けたカリキュラム・マネジメントの改善・充実によりリーダーシップを発揮している。
指導方法・教材研究の工夫	授業展開の仕方や教材研究の進め方を理解している。	話し方、板書の仕方、発問の仕方等の基本技術を身に付けるとともに、児童生徒の理解度や反応などを的確に捉え、同僚の助言等を得ながら、指導方法の工夫・改善に努めている。	研修会への参加や同僚との情報交換等を通して、授業力の向上に積極的に取り組んでいる。	児童生徒の実態を踏まえ、教科や学年を越えて同僚と協働しながら、授業力の向上に積極的に取り組んでいる。	教職生活を通して培った授業力をもとに同僚への支援・助言を行うなど、学校全体の授業力の向上に積極的に取り組んでいる。

※養護教諭、栄養教諭も同様の構成になっています。

(4) その他 指標の見方のポイント

Q ステージⅢにあたる人は、ステージⅢだけ見ればいいのですか。

A 指標は、前のステージで身に付けた資質の上に積み上げていく構造となっています（下図イメージ参照）。ステージⅢの方は、採用時の姿、ステージⅠ、Ⅱに示された指標の達成状況も確認してください。



Q 特別な配慮を必要とする児童生徒への指導に関する記述はないのですか。

A 障害のある児童生徒、外国籍の児童生徒、貧困・虐待などの課題を抱えた家庭の児童生徒など、特別な配慮を必要とする児童生徒への指導に関しては、「児童生徒の実態を捉え」、「児童生徒の理解度や反応などを的確に捉え」、「児童生徒一人一人に関する様々な情報を学年や学校全体で共有」、「児童生徒一人一人に対する理解を深め、共感的・受容的に」といった表記の中に含めました。

Q 「意欲・態度」については、ステージの区分をしないのですか。

A 採用時から教職生活を通じて変わらず持ち続けなければならないことから、ステージの区分はしていません。

Q 主幹教諭の指標は、ないのですか。

A 主幹教諭の指標は定めていませんが、教諭のステージⅣと捉えて、自身の資質の向上を図ってください。

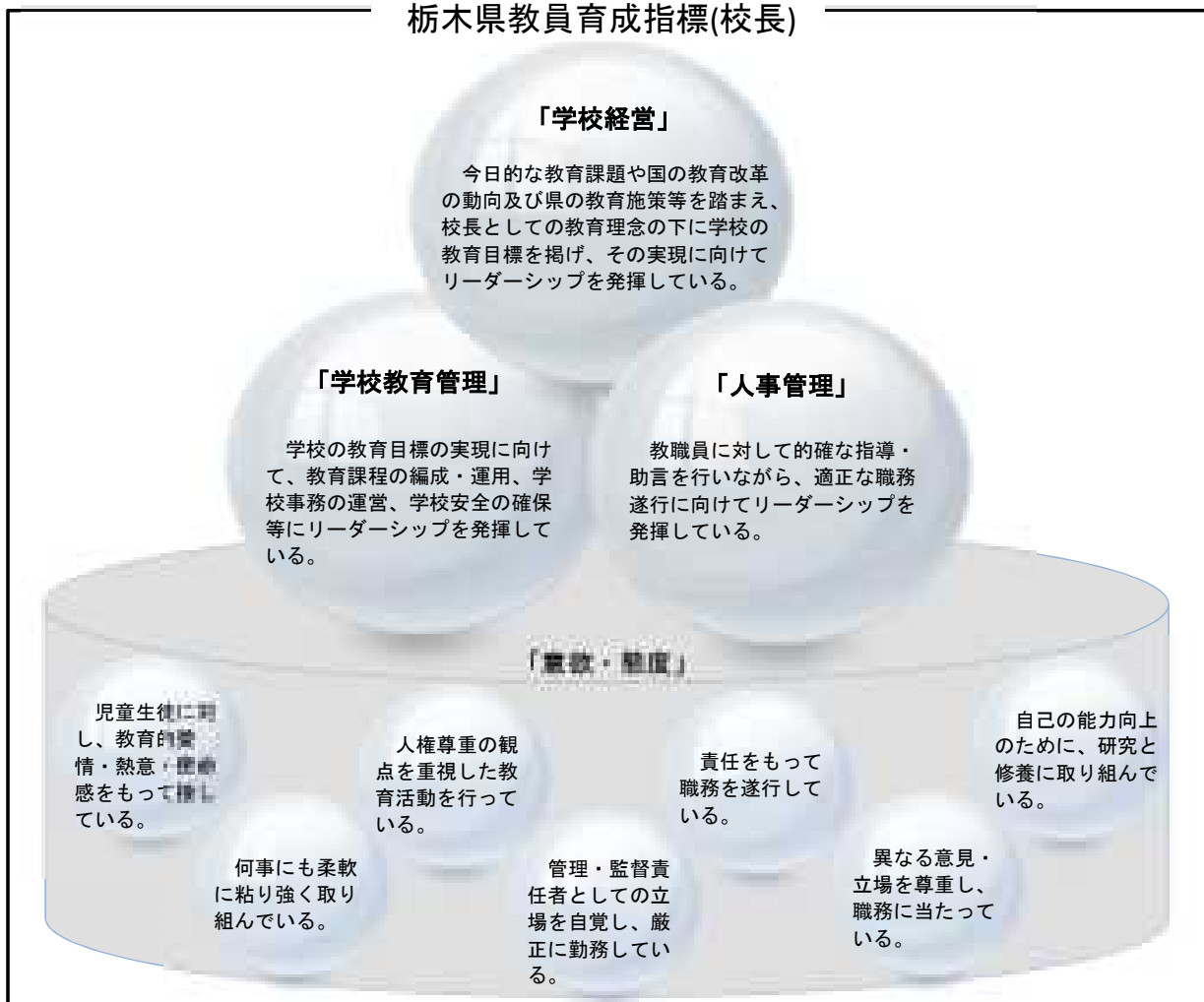
3 指標の活用について

指標は、採用時から始まり、教職生活全体を見通して段階的・継続的な視点で設定しています。各自が今身に付けるべき資質を確かめるとともに、振り返りまたは将来を見通す際にも活用できます。

また、指標の構成は行動規準表をベースとしているため、内容は行動規準表の表記と一致する部分がありますが、今日的な教育課題やこれからの社会の変化を見据えた内容も含まれています。各自が行動規準表の目標を設定する際に、指標の内容も参考にしてください。

なお、管理職や校務分掌のリーダーは、所属職員の資質の向上を図るために、指導・助言等の際の参考としても活用してください。

栃木県教員育成指標(校長)



補足指標

○学校経営

学校経営の理念の確立・周知	学校の教育目標の設定 学校経営方針の設定	学校の現状や課題及び地域の実態等の把握の下に学校の教育目標を設定するとともに、教職員・保護者・地域に説明している。 学校の教育目標の達成及び「特色ある学校づくり」「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた学校経営方針を設定し、教職員・保護者・地域に説明している。
組織マネジメントの実施	組織的な学校経営	学校の教育目標の実現に向けて、学校経営上の課題を把握し、課題解決のために組織的な学校経営を実施している。
	業務改善	教職員が本来の業務に専念し、教育の質の維持・向上が図られるよう、校務の見直しや改善及び教職員の意識改革等の推進にリーダーシップを発揮している。
	情報収集・分析・発信	国、県、市町の動向、教育施策、児童生徒の現状、家庭・地域の実態、社会情勢等について幅広く情報を収集・分析し、学校組織マネジメントの実施に生かすとともに、地域等に広く発信している。
	学校評価・学校評議員制度等の活用 地域社会との連携	学校評価制度や学校評議員制度等を、学校教育活動の見直しや教職員の学校経営への参画意識の高揚など、学校組織マネジメントの実施等に活用している。 地域の人的・物的資源の活用や関係機関等との連携・折衝等に積極的に取り組んでいる。

○学校教育管理

教育課程の編成・運用	学習指導要領に基づき、学校や地域の実態を踏まえながら、魅力ある教育課程を編成・運用している。
学校事務の管理	諸表簿等の整理、公文書の発行・管理、予算の執行、公金や備品等の管理を適正に行うとともに、業務の効率化に向けて指導・監督している。
学校施設・設備の管理	学校の施設・設備の維持・管理とともに、警備・防火計画を適切に策定するなど、安全確保を図っている。
危機管理	危機管理マニュアルを整備するとともに、適宜見直しや改善を図りながら、教職員の危機管理意識を高め、実効性のある危機管理体制を構築している。 また、緊急時において、状況を迅速・正確に把握し、教職員等に的確な指示を行うとともに、関係機関と連携した組織的な対応にリーダーシップを発揮できるよう、日頃より心がけている。

○人事管理

人材育成	教職員の人事評価	教職員の資質・能力や勤務状況を的確に把握することにより、教職員一人一人の人事評価を公正かつ厳正に行っている。
	人材の育成・指導	学校運営の中核となる人材を見いだし育成するとともに、全ての教職員に対し、個々の特性に応じながら資質・能力の向上に向けた指導・助言を適切に行っている。
人事管理	校内組織の構築	一人一人の教職員が能力を発揮できる校務分掌を作成したり、ミドルリーダーを適所に配置したりするなど、学校の教育目標の実現を目指した校内組織体制を構築している。
	教職員の資質・能力の向上 職場環境づくり	教職員の指導力向上のための指導・助言や校内研修会の実施等に積極的に取り組んでいる。 教職員のメンタルヘルスの維持に努めるとともに、教職員間の円滑なコミュニケーションと支え合う雰囲気が醸成された職場環境づくりにリーダーシップを発揮している。
サービスの管理	教職員のサービス管理を適切に行い、規律を確保している。特に、体罰や各種ハラスメントの根絶と、人権が尊重された学校づくりにリーダーシップを発揮している。	

※教頭の指標は、校長の指標を準用する。

栃木県教員育成指標(教諭)

とちぎの求める教師像

～自信と誇りをもって子どもたちと向き合える教師～

人間性豊かで信頼される教師
幅広い視野と確かな指導力を持った教師
教育的愛情と使命感を持った教師

	採用時の姿	ステージⅠ (おおむね1年目～5年目)	ステージⅡ (おおむね6年目～10年目)	ステージⅢ (おおむね11年目～19年目)	ステージⅣ (おおむね20年目～)
全体指標	教員としての基礎・基本を理解するとともに、教職生活全体を通して自律的に学び続けようとする強い意志を持っている。	教育活動に必要な基礎的・基本的な知識・技能を身に付けるとともに、同僚からの助言等を得ながら職務を遂行している。	専門的な知識・技能や、新たな教育課題に対応する実践的指導力を身に付けるとともに、同僚と協働しながら職務を遂行している。	学校の課題解決を目指し、組織を活性化させたり企画力・実践力を発揮したりするなど、ミドルリーダーとして学校運営に積極的に参画している。	教職生活を通して培った経験のもとリーダーシップを発揮し、学校の教育目標の達成を目指して積極的に学校経営を支え続けている。

○学習指導に関する指標

	採用時の姿	ステージⅠ (おおむね1年目～5年目)	ステージⅡ (おおむね6年目～10年目)	ステージⅢ (おおむね11年目～19年目)	ステージⅣ (おおむね20年目～)
学習指導全般	学習指導の基礎・基本を理解するとともに、指導力の向上を目指して学び続けようとする強い意志を持っている。	学習指導の基礎・基本を身に付けるとともに、児童生徒の実態をとらえ、同僚からの助言等を得ながら、指導の工夫・改善を図っている。	指導資料の活用や研修会への参加、同僚との情報交換等を通して、児童生徒の主体的な学びを促す学習指導の工夫・改善を図っている。	学習指導上の課題解決に向けた対策を積極的に提案するとともに、学年や部、教職員間の連絡・調整及び実践においてミドルリーダーとしての役割を果たしている。	若手・中堅教員等に学習指導の範を示すとともに、課題解決に向けて、教育課程の見直しや授業改善等にリーダーシップを発揮している。
指導計画等の立案・実施	教育目標の実現に向けて、指導計画に基づいて学習指導を行うことの大切さを理解している。	学習指導要領や年間指導計画等に基づき、指導目標や評価計画、指導内容等を適切に設定して学習指導案を作成している。	学習指導上の課題を把握し、同僚と情報交換を行いながら指導計画の工夫・改善を図っている。	学年間の接続や教科横断的な視点などから、学校全体を視野に入れた指導計画の工夫・改善を図っている。	学校の教育目標の実現に向けたカリキュラム・マネジメントの改善・充実にリーダーシップを発揮している。
指導方法・教材研究の工夫	授業展開の仕方や教材研究の進め方を理解している。	話し方、板書の仕方、発問の仕方等の基本技術を身に付けるとともに、児童生徒の理解度や反応などを的確に捉え、同僚の助言等を得ながら、指導方法の工夫・改善に努めている。	研修会への参加や同僚との情報交換等を通して、授業力の向上に積極的に取り組んでいる。	児童生徒の実態を踏まえ、教科や学年を越えて同僚と協働しながら、授業力の向上に積極的に取り組んでいる。	教職生活を通して培った授業力をもとに同僚への支援・助言を行うなど、授業力の向上に積極的に取り組んでいる。
	教材研究	授業のねらいを明確にするとともに、ICT機器などの教材・教具を工夫するなど、児童生徒の理解を深めるための指導の工夫を行っている。	研修会への参加や同僚との情報交換等を通して、児童生徒の理解を深めるための教材の開発や指導の工夫に取り組んでいる。	教科横断的な視点を踏まえ、教科や学年を越えて同僚と協働しながら、教材の開発や内容配列の工夫に取り組んでいる。	教材の選定や指導方法、指導形態等について研究を続けるとともに、同僚への支援・助言を積極的に行っている。
評価の工夫	指導と評価の一体化を進める大切さを理解している。	児童生徒の学習状況を確実に把握し指導に生かすことができるよう、同僚からの助言等を得ながら評価方法の工夫・改善に努めている。	児童生徒の学習状況をより多面的に把握し指導に生かすことができるよう、同僚と協働しながら評価方法の工夫・改善に努めている。	学習指導上の課題を踏まえ、改善に向けた評価方法等について同僚と協働しながら組織的に研究、実践している。	指導と評価が一体となった評価方法等について研究を続けるとともに、同僚への支援・助言を行っている。

○児童・生徒指導に関する指標

	採用時の姿	ステージⅠ (おおむね1年目～5年目)	ステージⅡ (おおむね6年目～10年目)	ステージⅢ (おおむね11年目～19年目)	ステージⅣ (おおむね20年目～)
児童・生徒指導全般	児童・生徒指導の基礎・基本を理解しているとともに、指導力の向上を目指して学び続けようとする強い意志を持っている。	児童・生徒指導の基礎・基本を身に付けるとともに、児童生徒の実態をとらえ、同僚からの助言等を得ながら、指導の工夫・改善を図っている。	指導資料の活用や研修会への参加、同僚との情報交換等を通して、指導の工夫・改善を図っている。	児童・生徒指導上の課題解決に向けた対策を積極的に提案するとともに、学年や部、教職員間の連絡・調整及び実践において、ミドルリーダーとしての役割を果たしている。	若手・中堅教員等に児童・生徒指導の範を示すとともに、課題解決に向け、指導計画の見直しや関係機関等との連携等にリーダーシップを発揮している。
児童生徒との信頼関係の構築	児童・生徒指導における児童生徒理解と信頼関係づくりの大切さを理解している。	日常的な関わりや同僚からの情報を得ながら、児童生徒の性格や心身の状況等の把握に努めている。	同僚と積極的に情報交換を行うなどして、児童生徒の多面的・多角的な理解に努めている。	児童生徒一人一人に関する様々な情報を学年や学校全体で共有できるように、教職員間の連絡・調整に当たっている。	児童生徒理解に関する専門的な知識を身に付け、同僚への支援・助言を行っている。
	信頼関係づくり・教育相談	カウンセリングマインドをもって児童生徒一人一人に共感的・受容的に接し、信頼関係の構築に努めている。	研修等を通して教育相談の基本を学び、児童生徒の相談を受け止め、適切に対応することにより、信頼関係を築いている。	児童生徒の悩み等を的確に把握し、問題解決に向けて同僚と協働しながら対応している。	児童生徒への教員の関わり方を観察し、教育相談の活用や、信頼関係づくりの具体的な方策等について、支援・助言を行っている。
児童生徒への指導・援助	児童・生徒指導の意義とともに、いじめ、不登校等への対応の基本について理解している。	基本的な生活習慣を身に付けさせる指導に、同僚からの助言等を得ながら取り組んでいる。	集団指導や個別指導を通して、自己指導能力を育む児童・生徒指導に同僚と協働しながら取り組んでいる。	児童生徒の自己指導能力を育て、自己指導能力を育む児童・生徒指導に同僚と協働しながら取り組んでいる。	自己指導能力を育む児童・生徒指導があらゆる場面で展開されるよう、指導法や指導体制の充実にリーダーシップを発揮している。
	問題行動等への対応	組織的な対応の重要性を理解するとともに、日頃から児童生徒の様子を観察し、問題行動等の未然防止、早期発見、迅速な対応に努めている。	事例研究等を通して問題行動等への対応について理解を深めるとともに、問題行動等に対して同僚と協働しながら対応している。	問題行動等の背景、原因を的確に把握し、解決のための方策を考えるとともに、関係職員と連携しながら組織的に対応している。	家庭や専門機関等と連携・協働した問題行動等への対応方法を身に付け、学校全体の組織体制の充実にリーダーシップを発揮している。
	特別活動、進路指導等への取組	特別活動や進路指導等の意義を理解し、同僚からの助言等を得ながら指導している。	キャリア教育の視点を持ち、同僚と協働しながら、個に応じた適切な指導を行っている。	学校の特色を生かした効果的な特別活動、進路指導等の在り方について具体策を考え、同僚と協働しながら組織的に取り組んでいる。	学校全体で効果的な特別活動、進路指導等が組織的に実施されるよう、リーダーシップを発揮している。

○参画・経営に関する指標

	採用時の姿	ステージⅠ (おおむね1年目～5年目)	ステージⅡ (おおむね6年目～10年目)	ステージⅢ (おおむね11年目～19年目)	ステージⅣ (おおむね20年目～)
参画・経営全般	組織の一員として自分の役割を果たそうとする強い意志をもっている。	「報告・連絡・相談」を確実に行うとともに、同僚からの助言等を得ながら、校務分掌の遂行に当たっている。	社会の変化に目を向け、広い視野をもつとともに、同僚と協働しながら校務に組織的に取り組んでいる。	学校経営上の課題解決に向けた対策を積極的に提案するとともに、学年や部、教職員間の連絡・調整及び実践において、ミドルリーダーとしての役割を果たしている。	リーダーシップを発揮しながら同僚の意欲の向上や組織力の強化を図るとともに、学校の教育目標の達成に向けて積極的に学校経営に参画している。
校務分掌への取組	校務の一端を担い、組織の一員として働くことの大切さを理解している。	担当する校務分掌について、同僚からの助言等を得ながら、迅速・正確に処理している。	担当する校務分掌について、同僚と協働しながら、工夫・改善しながら取り組んでいる。	校務分掌への取組を通して学校の課題を把握し、他の校務分掌との連携を図りながら、改善に努めている。	学校の教育目標の達成に向けて校務分掌に取り組むとともに、組織間の連携が図られるよう、同僚への支援・助言に積極的に取り組んでいる。
学級・学年経営・参画	学級・学年経営の一員として、組織的に対応することの大切さを理解している。	学年主任や他の担任の助言等を得ながら、学びに向かう集団に高めていくための学業指導の充実に取り組んでいる。	担当する学級及び学年の現状を把握し、同僚と協働しながら、学級・学年経営に参画している。	学校の教育目標等に基づき、同僚と協働しながら、よりよい学級経営・学年経営を目指して、工夫・改善に取り組んでいる。	学年全体の学級経営の現状を把握し、学校の教育目標等の実現に向けて、リーダーシップを発揮しながら、組織的な学年経営に取り組んでいる。
学校経営への参画	組織の一員として、組織的に対応することの大切さを理解している。	「報告・連絡・相談」を確実にしながら、校内組織での自らの役割を果たしている。	学校経営方針を理解し、同僚と協働しながら、校務に組織的に取り組んでいる。	学校組織マネジメント、カリキュラム・マネジメントについて理解し、学校の教育目標の達成、学校経営上の課題の解決のために積極的に取り組んでいる。	学校の教育目標の達成や学校経営上の課題の解決に向けた組織体制づくりにリーダーシップを発揮しているとともに、同僚への支援・助言を積極的に行っている。
日常の教育活動における安全確保	全ての教育活動の基盤となる安全確保の重要性について理解している。	同僚からの助言等を得ながら、教育環境、教育活動の安全確認に努めている。	学校の安全計画を理解し、同僚と協働しながら確実な実施に努めている。	安全担当者等と協働しながら、事故の未然防止に努めるとともに、安全上の課題の把握に努め、その解消に速やかに取り組んでいる。	日頃より事故の未然防止に努めるとともに、事故発生を想定した具体的な対応について、同僚と十分に共通理解を図り、支援・助言を行っている。
家庭・地域・関係機関等との連携	家庭・地域・関係機関等と連携・協働することの大切さを理解している。	学習指導、児童・生徒指導をはじめとする校務全般において、同僚からの助言等を得ながら、家庭や関係機関等との連携・協働に努めている。	学校内外の関係者との情報交換を積極的に行い、家庭や関係機関等との連携・協働の促進に努めている。	家庭や関係機関等との連携・協働がより効果的なものとなるよう、学校内外の関係者との連絡・調整を積極的に行っている。	家庭や関係機関等への情報提供や連携・協働の方法について、同僚への支援・助言に努めるとともに、校内の組織体制づくりにリーダーシップを発揮している。

○意欲・態度に関する指標

		採用時の姿	ステージⅠ～ステージⅣ
教育的愛情・熱意	教育的愛情	教育的愛情と使命感をもった教師になるという強い意志をもっている。	児童生徒に教育的愛情をもって接している。
	信念、熱意		正しい信念のもと、熱意と使命感をもって仕事に取り組んでいる。
	人権尊重の精神		人権尊重の観点を重視し教育活動を行っている。
誠実・品位、公正、法令の遵守等	誠実・品位	誠実・品位	礼儀正しい態度で誠実に仕事に取り組んでいる。
	公正		偏りがない見方・考え方で公正に勤務している。
	法令の遵守		職務・勤務の在り方を自覚し、厳正に勤務している。
責任感・寛容性・協調性等	責任感	責任感	責任をもって職務を遂行している。
	寛容性		異なる意見・立場を尊重し、職務にあたっている。
	協調性		同僚と協調して職務にあたっている。
研修に対する意欲			自己の能力向上のために、研究と修養に取り組んでいる。

栃木県教員育成指標(養護教諭)

とちぎの求める教師像

～自信と誇りをもって子どもたちと向き合える教師～

人間性豊かで信頼される教師

幅広い視野と確かな指導力を持った教師

教育的愛情と使命感を持った教師

	採用時の姿	ステージⅠ (おおむね1年目～5年目)	ステージⅡ (おおむね6年目～10年目)	ステージⅢ (おおむね11年目～19年目)	ステージⅣ (おおむね20年目～)
全体指標	養護教諭としての基礎・基本を理解するとともに、教職生活全体を通して自律的に学び続けようとする強い意志をもっている。	教育活動に必要な基礎的・基本的な知識・技能を身に付けるとともに、同僚や学校医等からの助言等を得ながら職務を遂行している。	教育活動に必要な専門的知識及び実践的指導力を身に付けるとともに、同僚と協働しながら職務を遂行している。	学校の課題解決を目指し、組織を活性化させたり企画力・実践力を発揮したりするなど、モデルリーダーとして学校運営に積極的に参画している。	教職生活を通して培った経験のもとリーダーシップを発揮し、学校の教育目標の達成を目指して積極的に学校経営を支えている。

○保健教育・保健管理に関する指標

	採用時の姿	ステージⅠ (おおむね1年目～5年目)	ステージⅡ (おおむね6年目～10年目)	ステージⅢ (おおむね11年目～19年目)	ステージⅣ (おおむね20年目～)
保健教育・保健管理全般	保健教育・保健管理の基礎・基本を理解するとともに、教職生活全体を通して自律的に学び続けようとする強い意志をもっている。	保健教育・保健管理の基礎・基本を身に付けるとともに、児童生徒の実態を捉え、同僚からの助言等を得ながら、指導の工夫・改善を図っている。	研修会等への参加、同僚との情報交換やコミュニケーションを通して、効果的な保健教育・保健管理の工夫・改善を図っている。	児童生徒の心身の健康の保持増進及び健康課題の解決に当たって組織的に対応し、他の教職員や医療機関、保護者等と協働して効果的な解決を図るコーディネーターの役割を果たしている。	保健室経営等で培った経験をもとにリーダーシップを発揮して、学校保健の推進と学校全体の活動に関する調整にリーダーシップを発揮している。
保健教育	保健教育の基礎・基本を理解している。	健康問題の解決に向けて、保健教育の基礎・基本を身に付け、保健教育を適切に行っている。	学校や児童生徒の実態にに応じ、効果的な保健教育を行うとともに工夫・改善を図っている。	児童生徒が、自らの心身の健康問題を発見し、対応できるような系統性のある保健教育を行うとともに、工夫・改善を図っている。	リーダーシップを発揮しながら近隣の学校等と連携し、地域レベルでの健康づくりを推進している。
健康診断・健康相談	健康診断・健康相談の基礎・基本を理解している。	健康診断の実施と事後措置や健康相談等を適切に行っている。	児童生徒のこれまでの経過を踏まえた健康相談等を行っている。	健康診断の結果や健康相談の機会等を活用し、校内組織を生かした健康管理に積極的に取り組んでいる。	校内支援体制の推進的役割を意識した健康管理に積極的に取り組んでいる。
学校環境衛生管理と感染症対策	学校環境衛生管理と感染症対策の基礎・基本を理解している。	学校環境衛生管理と感染症の予防と発生時の対応について、管理職や医療機関等と連携し、的確な措置を行っている。		専門的知識を深めるとともに、的確な予防措置を講じている。	情報の収集や環境の変化の把握を迅速に行い、学校でのリーダーシップを発揮するとともに、的確な措置を行っている。
救急処置	救急処置の基礎・基本及び救急体制の整備の大切さを理解している。	救急処置の基礎・基本を身に付けるとともに、的確な判断の下に、同僚と連携して業務を適切に行っている。		校内研修等において、指導的役割を果たすとともに、救急体制について共通理解を図り、組織を生かして活動している。	

○児童・生徒指導に関する指標

	採用時の姿	ステージⅠ (おおむね1年目～5年目)	ステージⅡ (おおむね6年目～10年目)	ステージⅢ (おおむね11年目～19年目)	ステージⅣ (おおむね20年目～)
児童・生徒指導全般	児童・生徒指導の基礎・基本を理解しているとともに、指導力の向上を目指して学び続けようとする強い意志をもっている。	児童・生徒指導の基礎・基本を身に付けるとともに、児童生徒の実態を捉え、同僚からの助言等を得ながら、指導の工夫・改善を図っている。	指導資料の活用や研修会等への参加、同僚との情報交換やコミュニケーションを通して、指導の工夫・改善を図っている。	児童・生徒指導上の課題解決に向けた対策を積極的に提案するとともに、教職員間の連絡・調整及び実践において、中心的な役割を果たしている。	若手・中堅教員等に児童・生徒指導の範を示すとともに、課題解決に向け、指導計画の見直しや関係機関等との連携等にリーダーシップを発揮しながら組織的に取り組んでいる。
児童生徒との信頼関係の構築	児童・生徒理解における児童生徒理解と信頼関係づくりの大切さを理解している。	日常的な関わりや同僚からの情報を得ながら、児童生徒の性格や心身の状況等について理解に努めている。	同僚と積極的に情報交換を行うなどして、児童生徒の多面的・多角的な理解に努めている。	児童生徒一人一人に関する様々な情報を学年や学校全体で共有できるよう、教員間の連絡・調整に当たっている。	児童生徒理解に関する専門的な知識を身に付け、同僚への支援・助言を行っている。
	信頼関係づくり・教育相談	カウンセリングマインドをもって児童生徒一人一人に共感的、受容的に接し、信頼関係の構築に努めている。	研修等を通して教育相談の基本を学び、児童生徒の相談を受け止め、適切に対応することにより、信頼関係を築いている。	児童生徒の悩み等を的確に把握し、問題解決に向けて同僚と協働しながら対応している。	児童生徒への教員の関わり方を観察し、教育相談の活用や、信頼関係づくりの具体的な方策等について、支援・助言を行っている。
児童生徒への指導・援助	予防的・開発的な児童・生徒指導	児童・生徒指導の意義とともに、いじめ、不登校等への対応の基本について理解している。	学級担任や家庭との連携を図りながら、組織的に児童・生徒指導を行っている。	児童生徒の健康課題を的確に捉え、同僚と協働しながら指導している。	児童生徒の健康課題を予防的な視点で捉え、関係機関等と連携しながら指導している。
	問題行動等への対応		組織的な対応の重要性を理解するとともに、日頃から児童生徒の様子を観察し、問題行動等の未然防止、早期発見、迅速な対応に努めている。	健康相談等を生かして、児童生徒の状況や内面を理解するとともに、同僚と協働しながら対応している。	専門性を生かし、関係機関等と連携のためのコーディネーター的な役割を果たしている。
	専門的な知識・技能を生かした指導		心身の健康問題に関して専門性を生かして、担任や家庭等へ情報提供を行っている。		心身の健康問題に関する専門的な知識や技能を生かし、組織的に課題解決にあっている。

○参画・経営に関する指標

	採用時の姿	ステージⅠ (おおむね1年目～5年目)	ステージⅡ (おおむね6年目～10年目)	ステージⅢ (おおむね11年目～19年目)	ステージⅣ (おおむね20年目～)
参画・経営全般	組織の一員として役割を果たそうとする強い意志をもっている。	「報告・連絡・相談」を確実に行うとともに、同僚からの助言等を得ながら、保健室経営に当たっている。	社会の変化に目を向け、広い視野をもつとともに、同僚と協働しながら、保健室経営の見直し等を図っている。	学校経営方針を理解し、学校・家庭・地域の連携をもとに推進することにより保健室経営を学校運営の視点に立って取り組んでいる。	児童生徒の健康づくりを効果的に推進するため、学校保健活動の中核的な役割を果たしている。
校務分掌への取組	校務の一端を担い、組織の一員として働くことの大切さを理解している。	担当する校務分掌について、同僚からの助言等を得ながら、迅速・正確な処理をしている。	担当する校務分掌について、同僚と協働しながら、工夫・改善を図っている。	校務分掌について、工夫や改善をするとともに、広い視野に立って校務に当たっている。	学校全体の組織を把握するとともに、学校保健活動の中心となってリーダーシップを発揮している。
保健室経営	保健室経営の基礎・基本を理解している。	同僚の助言等を得ながら保健室経営計画を作成し、計画に基づいた保健室経営を行っている。	児童生徒の健康状況等を踏まえた保健室経営を行うとともに、工夫・改善を図っている。	学校経営上の課題を把握し、健康課題等の解決を目指して、家庭や地域と連携しながら組織的な保健室経営を行っている。	
学校経営への参画	組織の一員として、組織的に対応することの大切さを理解している。	「報告・連絡・相談」を確実にしながら、校内組織での自らの役割を果たしている。	学校経営方針を理解し、同僚と協働しながら、校務に組織的に取り組んでいる。	学校組織マネジメント、カリキュラム・マネジメントについて理解し、学校の教育目標の達成、学校経営上の課題の解決のために積極的に取り組んでいる。	学校の教育目標の達成や学校経営上の課題の解決に向けた組織体制づくりにリーダーシップを発揮しているとともに、同僚への支援・助言を積極的に行っている。
日常の教育活動における安全確保	全ての教育活動の基盤となる安全確保の重要性について理解している。	同僚からの助言等を得ながら、教育環境、教育活動の安全確保に努めている。	学校の安全計画を理解し、同僚と協働しながら確実な実施に努めている。	安全担当者等と協働しながら、事故の未然防止に努めるとともに、安全上の課題の把握に努め、その解消に速やかに取り組んでいる。	日頃より事故の未然防止に努めるとともに、事故発生を想定した具体的な対応について、同僚と十分に共通理解を図り、支援・助言を行っている。
家庭・地域・関係機関等との連携	家庭・地域・関係機関等と情報を共有することの大切さを理解している。	学校保健活動についての理解を促すために、情報を提供している。	学校保健活動についての理解を促すために、情報を提供し、家庭や地域等と連携・協力しながら、校務を処理している。	地域とともにある学校づくりに向け、学校保健活動の改善・充実を図っている。	学校の教育目標の達成を目指し、家庭・地域・関係機関等と連携・協力を行い、学校保健活動の改善・充実をしている。

○意欲・態度に関する指標

		採用時の姿	ステージⅠ～ステージⅣ
教育的愛情・熱意	教育的愛情	教育的愛情と使命感をもった教師になるという強い意志をもっている。	児童生徒に教育的愛情をもって接している。
	信念、熱意		正しい信念のもと、熱意と使命感をもって仕事に取り組んでいる。
	人権尊重の精神		人権尊重の観点を重視し教育活動を行っている。
誠実・品位、公正、法令の遵守等	誠実・品位		礼儀正しい態度で誠実に仕事に取り組んでいる。
	公正		偏りがない見方・考え方で公正に勤務している。
	法令の遵守		職務・勤務の在り方を自覚し、厳正に勤務している。
責任感・寛容性・協調性等	責任感		責任をもって職務の処理にあたっている。
	寛容性		異なる意見・立場を尊重し、職務にあたっている。
	協調性		同僚と協調して職務にあたっている。
研修に対する意欲			自己の能力向上のために、研究と修養に取り組んでいる。

栃木県教員育成指標(栄養教諭)

とちぎの求める教師像

～自信と誇りをもって子どもたちと向き合える教師～

人間性豊かで信頼される教師

幅広い視野と確かな指導力を持った教師

教育的愛情と使命感を持った教師

	採用時の姿	ステージⅠ (おおむね1年目～5年目)	ステージⅡ (おおむね6年目～10年目)	ステージⅢ (おおむね11年目～19年目)	ステージⅣ (おおむね20年目～)
全体指標	栄養教諭としての基礎・基本を理解するとともに、教職生活全体を通して自律的に学び続けようとする強い意志をもっている。	教育活動に必要な基礎的・基本的な知識・技能を身に付けるとともに、同僚からの助言等を得ながら職務を遂行している。	専門的な知識・技能や、新たな教育課題に対応する実践的指導力を身に付けるとともに、同僚と協働しながら職務を遂行している。	学校運営に積極的に参画し、組織の活性化を図りながら学校の健康課題等の解決を目指して、企画力・実践力を発揮している。	教職生活を通して培った経験のもとリーダーシップを発揮し、学校の教育目標の達成を目指して積極的に学校経営を支え続けている。

○「食に関する指導」に関する指標

	採用時の姿	ステージⅠ (おおむね1年目～5年目)	ステージⅡ (おおむね6年目～10年目)	ステージⅢ (おおむね11年目～19年目)	ステージⅣ (おおむね20年目～)
食に関する指導全般	児童生徒への食に関する指導の基礎・基本を理解するとともに、教職生活全体を通して自律的に学び続けようとする強い意志をもっている。	生きた教材としての「学校給食」を活用した食に関する指導の方法を身に付け、献立等の工夫により教科等と関連付けた指導を行っている。	計画的な食に関する指導を行うため、常に効果的な指導方法を研究し、質の高い指導に向けて工夫・改善に努め、児童生徒の実態に基づいた、実践的な指導を行っている。	食に関する新しい情報を収集し、同僚への助言等を行うとともに、食育に関する協働的・組織的な体制づくりに貢献し、学校の課題解決のための企画力・実践力を発揮している。	学校の課題を解決するため、組織を活用した体制の確立にリーダーシップを発揮しながら児童生徒の健康課題の解決等に向けて力を発揮している。
教科等における食に関する指導	食に関する指導の基礎・基本を理解するとともに、教科担任等と連携する大切さを理解している。	児童生徒の食生活等の実態を把握するとともに、専門性を生かして、教科や特別活動等における指導計画を作成し、指導を行っている。	専門的知識を深めるとともに、担任等と協働しながら、教科指導等の工夫・改善を図っている。	児童生徒の変容を指導に生かせるよう担任等と連携するとともに、食育推進の中心的役割を果たしている。	食育推進のリーダーとして、健康課題を解決するとともに、近隣の学校等と連携し、創意工夫しながら、指導を行っている。
個別的な相談指導	適切な相談指導	栄養学等の基本的知識及び個別的な相談指導の大切さを理解している。	実態調査等から、食物アレルギー等の食に関する健康課題を有する児童生徒や保護者に対し、専門的な立場から適切な相談指導を行っている。	個に応じた指導計画を基に、専門的な立場から、担任等へ助言等を行っている。	
	校内体制の整備と関係機関等との連携	校内における相談指導体制を整備するとともに、主治医や学校医・関係機関等と連携を図り、適切に対応している。		校内体制について工夫・改善を図るとともに、主治医や専門医等と密接に連携を取りながら対応している。	
指導の連携・調整	食に関する指導を行う上で、家庭や地域等と連携することの大切さを理解している。	児童生徒の食生活等の実態を把握し、食に関する指導の全体計画策定に専門的な立場で参画するとともに、食に関する指導について、教職員・保護者・地域との連携を図っている。		教職員・保護者・地域と連携を図り、工夫・改善を行いながら中核的な役割を果たしている。また、地域の栄養教諭のリーダー的立場として後輩への支援・助言を行っている。	

○学校給食の管理に関する指標

	採用時の姿	ステージⅠ (おおむね1年目～5年目)	ステージⅡ (おおむね6年目～10年目)	ステージⅢ (おおむね11年目～19年目)	ステージⅣ (おおむね20年目～)
学校給食の管理全般	児童生徒に応じた栄養管理及び給食管理の基礎・基本を理解している。	専門性を生かし、学校給食摂取基準や食品構成に配慮した献立の作成、児童生徒の実態把握を実施し、より適切な給食管理を行っている。	栄養管理の資料の活用や衛生管理責任者として教職員への情報提供や支援・助言を行い、児童生徒の健康状態等の実情に十分に配慮し適切な指導を行っている。	確実な給食管理により学校の課題解決のための企画力を身に付け、同僚への支援・助言を行い、組織的に児童生徒の栄養管理や衛生管理の指導体制づくりに貢献している。	学校の教育目標に基づいた学校給食の基本計画を立案し、給食管理に関する課題を解決するため、組織を活用した管理体制の中でリーダーシップを発揮しながら取り組んでいる。
学校給食の基本計画の策定	学校給食の基本計画の策定の大切さを理解している。	学校給食に関する基本計画の策定に専門的な立場から参画している。	児童生徒の実態を把握しながら、効果的な基本計画を策定している。	学校の課題解決を目指した、組織的な基本計画の策定に努めている。	
栄養管理に関する業務	栄養管理と魅力ある献立の作成	児童生徒の食生活状況を把握し、学校給食摂取基準や食品構成、地場産物の活用を配慮した献立の作成を行っている。	適切な栄養管理や地場産物の活用に配慮し、教科等と連携した魅力ある献立の作成を行っている。	特色ある献立を作成するとともに、地域の栄養教諭のリーダー的立場として後輩への支援・助言を行っている。	学校の課題のみならず、家庭や地域の課題を解決する献立を作成している。
	資料等の効果的な活用	食事状況調査・残食調査等の結果を基に、栄養管理の内容を指導に生かせるよう、情報提供を行っている。	教職員と協働して効果的な資料の活用を図るとともに、児童生徒への指導・助言を行っている。	栄養管理の課題に即した資料を効果的に活用するとともに、担任等に専門的な立場から支援・助言を行っている。	栄養管理に関する資料を収集し、教科等と関連付けて活用している。
衛生管理に関する業務	衛生管理指導、衛生管理保持、検査、検査用保存食の管理	衛生管理者として、調理従事者への衛生管理指導、施設設備の改善及び食品の衛生管理を適正に行っている。また、検査の実施及び検査用保存食の管理を適切に行っている。			
	安全管理・危機管理	管理職等と連携を図りながら、事故の未然防止に努めるとともに、問題発生時に適切に対処している。	事故の未然防止や問題発生時の対応に向けた校内の協力体制について、工夫・改善を図っている。		
物資管理に関する業務	物資管理に関する業務の基礎・基本を理解している。	地場産業・国産食材等の活用との関連を考慮し、学校給食物資の選定、購入、検収及び保管について適正に行っている。			

○参画・経営に関する指標

		採用時の姿	ステージⅠ (おおむね1年目～5年目)	ステージⅡ (おおむね6年目～10年目)	ステージⅢ (おおむね11年目～19年目)	ステージⅣ (おおむね20年目～)
参画・経営全般		組織の一員として役割を果たそうとする強い意志をもっている。	「報告・連絡・相談」を確実に行うとともに、同僚からの助言等を得ながら、校務分掌の遂行に当たっている。	社会の変化に目を向け、広い視野をもつとともに、同僚と協働しながら校務に組織的に取り組んでいる。	学校経営目標や学校経営方針を理解し、食に関する課題を把握するとともに、解決に向けた提案をしている。	組織を活用した食に関する課題の解決のためにリーダーシップを発揮している。
校務分掌への取組		校務の一端を担い、組織の一員として働くことの大切さを理解している。	担当する校務分掌について、責任を自覚し、迅速・正確な処理をしている。	担当する校務分掌について、同僚と協働しながら、工夫・改善しながら取り組んでいる。	校務分掌への取組を通して学校の課題を把握し、他の校務分掌との連携を図りながら、改善に努めている。	
学校経営への参画	基本計画の評価と改善	組織の一員として、組織的に対応することの大切さを理解している。	基本計画について評価を行い、同僚からの助言等を得ながら、成果と課題を把握し、改善に努めている。		基本計画について評価を行い、成果と課題を把握し、食育推進組織により、組織的な改善を行っている。	
	学校目標達成のための役割の遂行		学校の教育目標達成のために自らの役割を遂行している。	学校の教育目標達成のために全体との関わりの中で自らの役割を果たすとともに、教職員と適切に情報を共有している。	学校組織マネジメント、カリキュラム・マネジメントについて理解し、学校の教育目標の達成、学校経営上の課題の解決のために積極的に参画している。	学校の教育目標の達成や学校経営上の課題の解決に向けて、学校組織マネジメント等の手法を活用し、同僚を巻き込みながら、積極的に参画している。
日常の教育活動における安全確保		全ての教育活動の基盤となる安全確保の重要性について理解している。	同僚からの助言等を得ながら、教育環境、教育活動の安全確認に努めている。	学校の安全計画を理解し、同僚と協働しながら確実な実施に努めている。	安全担当者等と協働しながら、事故の未然防止に努めるとともに、安全上の課題の把握に努め、その解消に速やかに取り組んでいる。	日頃より事故の未然防止に努めるとともに、事故発生を想定した具体的な対応について、同僚と十分に共通理解を図り、支援・助言を行っている。
家庭・地域・関係機関等との連携		家庭・地域・関係機関等と情報を共有することの大切さを理解している。	食に関する指導、学校給食の管理において、同僚からの助言等を得ながら、家庭・地域・関係機関等との連携・協働に努めている。		家庭及び地域に対して啓発を行い、学校における食育の取組や成果を可視化している。また、地域の要望を勘案しながら、家庭、地域に対して食に関する指導について各種事業を企画立案し実践している。	

○意欲・態度に関する指標

		採用時の姿	ステージⅠ～ステージⅣ
教育的愛情・熱意	教育的愛情	教育的愛情と使命感をもった教師になるという強い意志をもっている。	児童生徒に教育的愛情をもって接している。
	信念、熱意		正しい信念のもと、熱意と使命感をもって仕事に取り組んでいる。
	人権尊重の精神		人権尊重の観点を重視し教育活動を行っている。
誠実・品位、公正、法令の遵守等	誠実・品位		礼儀正しい態度で誠実に仕事に取り組んでいる。
	公正		偏りが無い見方・考え方で公正に勤務している。
	法令の遵守		職務・勤務の在り方を自覚し、厳正に勤務している。
責任感・寛容性・協調性等	責任感		責任をもって職務の処理にあたっている。
	寛容性		異なる意見・立場を尊重し、職務にあたっている。
	協調性		同僚と協調して職務にあたっている。
研修に対する意欲			自己の能力向上のために、研究と修養に取り組んでいる。

幼稚園教諭等の資質向上に関する指標(参考資料)

栃木県教育委員会作成

とちぎの求める教師像
 ～自信と誇りをもって子どもたちと向き合える教師～
 人間性豊かで信頼される教師
 幅広い視野と確かな指導力を持った教師
 教育的愛情と使命感を持った教師

	採用時の姿	ステージⅠ(おおむね1年目～4年目)	ステージⅡ(おおむね5年目～10年目)	ステージⅢ(おおむね11年目～主任等)
全体指標	教員としての基礎・基本を理解するとともに、今後の教職生活全体を通して自主的に学び続けようとする強い意志をもっている。	教育活動に必要な基礎的な知識及び指導技術を習得し、組織の一員として行動する実践的指導力を身に付けるとともに、教師への使命感を高めている。	教育活動や学級経営等に関する専門的な知識及び指導技術を習得し、実践的指導力の向上を図るとともに組織的な視野に立った資質や指導力を身に付けている。	学年や分掌の運営等に関する知識及び技能を習得し、園運営のための企画力を有している。教育活動の実践力を一層高めるとともに、教職員の人材育成を行い、園長を補佐して教育目標の実現に向けた取組を、組織的に推進できる資質・能力を備えている。

○保育に関する指標

		採用時の姿	ステージⅠ(おおむね1年目～4年目)	ステージⅡ(おおむね5年目～10年目)	ステージⅢ(おおむね11年目～主任等)
保育全般		保育に関する基礎・基本を理解するとともに、幼児との信頼関係を築き、よりよい教育環境を作ろうとする強い意志をもっている。	保育の基礎・基本を身に付け、幼児理解に基づき、保育を行うことができるとともに、同僚からの助言等を得ながら、保育の工夫・改善を行っている。	一人一人の発達の特성에応じて、教材研究や環境構成を工夫し、保育を行うとともに、保育に関する自己の課題をもち、研修等に参加するなどして資質の向上に努めながら、保育の工夫・改善を行っている。	保育を確実に身に付け、同僚への支援・助言を行い、協働的・組織的な保育体制づくりに貢献し、学年や園の課題解決のための企画力を身に付けている。
幼児理解	発達理解	幼児の発達の過程や一人一人の特性を理解することの大切さを理解している。	幼児のおおよその発達について理解し、年齢に応じた保育を展開している。	幼児の発達について理解し、教育課程に基づき、年齢に応じた保育を展開している。	幼児の発達を見通して、教育課程に基づき、園全体の保育を調整し、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を意識しながら保育を展開している。
	一人一人の幼児の特性や発達の理解		一人一人の幼児の特性や発達を理解し、場や状況に応じて対応をしている。	一人一人の幼児の特性や発達を理解し、そのらしさを捉えた柔軟な対応をしている。	同僚のモデルとなり、一人一人の幼児の特性や発達に応じた適切な対応をしている。
指導計画	教育要領等の理解	教育要領等を理解し、ねらいを明確にして教材研究に取り組み、指導計画を作成することの大切さを理解している。	教育要領等の内容を理解し、日案等の指導計画の作成の拠り所としている。	教育要領等の内容を理解し、日々の保育に生かしたり、課題解決の拠り所としたりしている。	教育要領等の内容を把握し、保育の課題等に対して、同僚に支援・助言をしている。
	指導計画の作成 ねらいの明確化		幼児の実態を踏まえて短期の指導計画(週案や日案)を作成し、ねらいを明確にして保育を展開している。	教育課程と長期の指導計画、さらには、短期の指導計画との関係を踏まえて、発達を見通した指導計画の作成ができる。	教育課程に基づき、学年間を見通した指導計画を作成するとともに、望ましい保育の実践及び省察を継続できるよう、同僚に支援・助言をしている。
	教材研究		幼児の発達に即した素材や道具、遊具等について教材研究をしている。	一人一人の幼児の育ちに応じた素材や道具、遊具等について教材研究をしたり、有効な活用について同僚と一緒に考えたりしている。	学級の状況や幼児の発達を踏まえた保育を展開するための教材について知識をもち、同僚に情報提供や支援・助言をしている。
指導の工夫	環境の構成・再構成	指導計画に基づき環境を構成したり、個に応じた適切な援助をしたりする等、指導を工夫することの大切さを理解している。	日案に基づき、幼児の動きや遊びの展開を予測して、環境を構成している。	幼児の動きや遊びの展開に応じて、環境を様々に工夫し、幼児に豊かな経験を保障している。	地域や園全体の物的・人的環境を視野に入れ、物や場を生かしたり、人材の活用を図ったりするなどの工夫をしている。
	援助		5領域の内容を踏まえながら、総合的な指導ができるとともに、一人一人の幼児の特性や発達に基づき、場や状況に応じて、個の思いに寄り添った援助をしている。	5領域の内容を踏まえた総合的な指導の中で、個と集団の育ちを意識して、一人一人の幼児の特性を捉え、それぞれの育ちに必要な援助をしている。	同僚のモデルとなったり、協働したりしながら、学びに向かう集団づくりを意識して、一人一人の幼児の特性を生かす援助をしている。
	特別な配慮を必要とする幼児への指導		特別な配慮を必要とする幼児について、個々の幼児の実態を把握し、同僚の助言等の下、適切な手立てを講じている。	特別な配慮を必要とする幼児について、個々の幼児の実態を的確に把握し、同僚と連携しながら、適切な手立てを講じている。	特別な配慮を必要とする幼児について、専門性を高め、同僚への支援・助言を行うとともに、園内体制の中心となり、適切な手立てを講じている。
評価の工夫	記録の蓄積	記録に基づき、保育を工夫・改善する大切さを理解している。	指導計画等のねらいと照らし合わせ、幼児の姿や遊びの様子を記録している。	ねらいと照らし合わせた幼児の姿や遊びの記録を蓄積し、幼児の変容や成長について適切な評価をしている。	同僚が幼児の育ちや保育の実践について、適切な評価を蓄積できるよう、継続して支援・助言をしている。
	記録に基づく保育の工夫・改善		日々の記録等を基に、翌日の保育を計画したり、幼児への対応の参考にしたりする等、保育の実践に生かしている。	日々の記録等を基に、個と集団の育ちを意識して、保育を工夫・改善している。	日々の記録等の蓄積を基に、同僚と連携し、長期的な指導計画と照らし合わせながら、保育の工夫・改善を図っている。

○参画・経営に関する指標

		採用時の姿	ステージⅠ(おおむね1年目～4年目)	ステージⅡ(おおむね5年目～10年目)	ステージⅢ(おおむね11年目～主任等)
参画・経営全般		教育理念や教育目標を理解し、その実現に向けて組織の一員として働くことと強い意志をもっている。	「報告・連絡・相談」を確実に行うとともに、教育目標や経営方針を理解し、自身の園務分掌や教育活動の中で実践しようとする意欲をもっている。	教育目標の実現に向けて、自身の役割を果たし、同僚の園務分掌や学級事務等の状況を把握し、共によりよい実践をしている。	教育目標の実現に向けて、園の課題を把握するとともに、解決に向けた具体的な取組を提案したり、実践したりしている。
園務分掌	園務分掌への取組	園務の一端を担い、組織の一員として働くことの大切さを理解している。	園務分掌について、責任をもち、迅速・正確な処理をしている。	園務分掌について、自身の役割を理解し、積極的に取り組んでいる。	自身の園務分掌について、工夫や改善をして積極的に取り組むとともに、同僚に適切な支援・助言を行っている。
同僚性	学級経営	学級・学年経営について、組織的に対応することの大切さを理解している。	教育目標や幼児の実態を踏まえ、温かな雰囲気の中で良好な人間関係の構築と学級づくりに努めている。	教育目標や幼児の実態を踏まえ、幼児理解に基づく人間関係の構築と個を生かした学級づくりに努めている。	園全体を見通して、各学級の状況を把握し、実態や課題に応じて、同僚に適切な支援・助言を行っている。
	学年経営		学年主任や他の学級と協力しながら、学年経営に努めている。	他の学級や学年と協力しながら、学年経営に参画し、課題の解決に努めている。	
研修	園外研修	自己研鑽や組織力向上のための園内外の研修の大切さを理解している。	研修に進んで参加し、幼児教育に関する知識等を積極的に吸収するとともに、研修成果を管理職等に報告し、保育に生かしている。	研修に進んで参加し、幼児教育に関する知識等を吸収するとともに、研修成果を同僚と共有し、保育等に生かしている。	研修に進んで参加し、幼児教育の諸課題に関する知識等を吸収するとともに、研修成果を同僚と共有し、園の課題解決等に生かしている。
	園内研修		研修に意欲的に参加し、テーマや課題に対する自分の考えをもっている。	研修に意欲的に参加し、テーマや課題に対する自分の考えをもち、中心となって協議等を進めている。	
危機管理	安全管理 安全教育	日常的な危機管理の大切さを理解している。	危機管理を理解し、マニュアルに沿った環境を整えたり、遊びや生活の中で、安全や防災等を意識した指導を行ったりしている。	危機管理を理解し、マニュアルに沿った環境を整えたり、より安心、安全に生活できる環境を工夫したりする等の改善に努めている。	園全体の危機管理を理解し、安全教育や防災等に関する取組が適切に行われるよう努めている。
家庭・地域・関係機関との連携	保護者対応 子育ての支援	地域における幼児期の教育のセンターとしての役割を担い、家庭・地域・関係機関等と連携することの大切さを理解している。	話しやすい雰囲気をつくり、カウンセリングマインドをもって保護者に接している。また、預かり保育の趣旨を理解し、担当者と連携し、幼児の育ちを支えている。	保護者との良好な関係を築き、相談に応じたり、専門性をもって対応をしたりしている。また、預かり保育の状況を踏まえ、幼児の育ちを支えている。	保護者との信頼関係の構築や保護者支援に関する中核的な立場を自覚し、役割を担っている。また、預かり保育の内容を提案するなどして、幼児の育ちを支えている。
	地域における幼児期の教育のセンターとしての役割		在園児の保護者や地域の子育て家庭に対して、温かい雰囲気や接し、気持ちのよい対応をしている。	在園児の保護者や地域の子育て家庭に対して、親しみをもって接し、気持ちよく利用できる雰囲気づくりをしている。	地域の子育ての支援の中核として、在園児の保護者を含め、家庭・地域・関係機関等との連携・協力に努めている。
	小学校との連携		小学校との連携の必要性を理解し、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」等を基に、子どもの交流活動や教職員の合同研修等に参加している。	小学校との連携の取組の中で、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」等を基に、幼児教育や子どもの育ち等について伝えながら、相互理解を深めている。	小学校との相互理解を深めるために、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」等を基に、互恵性のある連携を進めている。

○意欲・態度に関する指標

		採用時の姿	ステージⅠ～ステージⅢ
教育的愛情・熱意	教育的愛情	教育的愛情と使命感をもった教師になるという強い意志をもっている。	幼児に教育的愛情をもって接している。
	信念、熱意		正しい信念のもと、熱意と使命感をもって仕事に取り組んでいる。
	人権尊重の精神		人権尊重の観点を重視し教育活動を行っている。
誠実・品位、公正、法令の遵守等	誠実・品位	誠実・品位 公正 法令の遵守	礼儀正しい態度で誠実に仕事に取り組んでいる。
	公正		偏りがない見方・考え方で公正に勤務している。
	法令の遵守		職務・勤務の在り方を自覚し、厳正に勤務している。
責任感・寛容性・協調性等	責任感	責任感 寛容性 協調性	責任をもって職務の処理にあたっている。
	寛容性		異なる意見・立場を尊重し、職務にあたっている。
	協調性		同僚と協調して職務にあたっている。
研修に対する意欲			自己の能力向上のために、研究と修養に取り組んでいる。

平成 30 年度栃木県教員研修計画

とちぎの求める教師像
 ～自信と誇りをもって子どもたちと向き合える教師～
 人間性豊かで信頼される教師
 幅広い視野と確かな指導力を持った教師
 教育的愛情と使命感を持った教師

基本研修

○新規採用の年から当該年数段階に即応して教員として必要な基本的知識・技術及び態度を習得させる研修

	ステージⅠ (おおむね 1 年目～5 年目)	ステージⅡ (おおむね 6 年目～10 年目)	ステージⅢ (おおむね 11 年目～19 年目)	ステージⅣ (おおむね 20 年目～)
全体指標	教育活動に必要な基礎的・基本的な知識・技能を身に付けるとともに、同僚からの助言等を得ながら職務を遂行している。	専門的な知識・技能や、新たな教育課題に対応する実践的指導力を身に付けるとともに、同僚と協働しながら職務を遂行している。	学校の課題解決を目指し、組織を活性化させたり企画力・実践力を発揮したりするなど、ミドルリーダーとして学校運営に積極的に参画している。	教職生活を通して培った経験のもとリーダーシップを発揮し、学校の教育目標の達成を目指して積極的に学校経営を支え続けている。

とちぎの若手教員

15 (いちご) 研修

初任者研修

実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得る。

フォローアップ研修

教職 2 年目研修

教職 3 年目研修

教職 2 年目、3 年目の段階に即応した教員としての資質の向上を図る。

ステージアップ研修

教職 5 年目研修

教職 5 年目の段階に即応した教員としての資質の向上を図る。

中堅教諭等資質向上研修

(教職 10 年目対象)

中堅教諭等としての職務を遂行する上で必要とされる資質の向上を図る。

教職 20 年目研修

教職 20 年目の段階に即応した広い視野からの教員としての在り方について考え、学校における中核的リーダーとして活躍できる資質の向上を図る。

*教職 3 年目研修は、平成 32 年度から実施

専門研修

○教育課程の領域及び教育の諸分野についての専門的な知識、技術及び態度を習得させる研修

ミドルリーダーを育成する研修、教育相談に関する研修、特別支援教育に関する研修、幼小連携に関する研修 等 28 講座

○法律によって定められている職位にある者を対象に、その職責遂行のために必要な専門的知識、技術及び態度を習得させる研修

校長・教頭を対象とした研修、新任の主任等を対象とした研修 等 27 講座

○自主的に自己啓発を願う教員の研修意欲を充実させ、専門職としての識見と能力を伸長させる研修

教科指導に関する研修、ICT に関する研修、教育相談に関する研修、特別支援教育に関する研修、校内研修に関する研修、幼児教育に関する研修、学校図書館に関する研修 等 51 講座

○教員としての識見や能力の一層の向上を図るための自主的な研修

とちぎの教育未来塾…若手教員や本県の教員を目指す大学生等を対象とした研修
 教職員サマーセミナー…夏季休業中に宇都宮大学が実施する研修講座 等